

2025年9月 昭和鯨城会会報 119号

昭和の巧会便り



行事レポート

名古屋競馬場(金シャチけいばNAGOYA)

32期 (地域A) 松栄 水野 晃

5月23日に名古屋競馬場見学の行事に参加しました。競馬は、週末に行われるG1といわれる重賞レースにネット投票するぐらいの初心者です。生の競馬は見たことがなく様子見で参加しました。名鉄バスセンターより無料バスで弥富の名古屋競馬場まで行きました、かつては弥富トレセンという、ソフトボールの試合などに行っていたところで、その跡地にできた競馬場だそうです。着いてみて、綺麗だなあと思いました。



エントランス



パドック風景

第2レースの馬券の購入が可能な時間だったので、同行した人たちと購入しようとしたらマークシート方式に戸惑い、やっと記入して発券機にカードと現金を入れても戻ってきってしまう(同行者も同じく)、何度も失敗するので裏から係の人が出てきて正しい記入の仕方を教えてくれて、無事に投票ができましたが難しかった。



投票選択

投票することで精いっぱい結果は当然かすりもせず完敗。

第3レースの馬券購入の時は、親切なおじさんが投票馬券の種類、記入の仕方を教えてくれました。おかげで余裕を持ってレースを見ることができました。



デットヒート

目の前を12頭が走り抜ける迫力は、テレビで見るとは全然違います。結果はかすりしました。

そこで、2階のレストランで持ち込みのあんぱ



発券に四苦八苦

ンとビールで第4レースを観戦、結果は、🎯 締めてビールのみの出費で納まりました。配当金額を発表前に教えてくれたおじさんがいて楽しい一日を過ごすことができました。

皆さんありがとうございました。



当たり馬券等



参加者で記念写真

行事レポート

ぬくもりの森を訪ねて

38期（暮らし）滝川 岩井 芳隆

6月20日（金）、昭和鯨城会に参加後、初めてのバス旅行に参加させていただきました。幸いにも天候に恵まれ、予定より早く浜松の「ぬくもりの森」へと出発。



ぬくもりギャラリー



「森」を散策

岡崎のサービスエリアで休憩後、11時に到着し、イギリスの古レンガ造りの門をくぐって入場します。

この「ぬくもりの森」は、創業者の故・佐々木茂良氏が20年以上かけてコツコツと創り上げてきた場所で、欧風建築のアンティークな美しさが随所に見られ、まさにおとぎの国のような独特の世界観が漂っています。特に創業者が住んでいたギャラリーは、工房のこだわりが各所に見られ、その独自の美しさに感激しました。

参加者の皆さんも、おしゃれな森のチーズケーキ屋さんで苺ミルクやジェラートを召し上がりながら会話に花を咲かせたり、水車小屋などを覗きながら、設計者の隠したハートのデザイン探しをしたりと、楽しそうです。当初は入口の建物に目を奪われ全体が小さく見えていましたが、森を散策し、



「魚あら」にて昼食

集落全体が見えてくると、優しく包み込むような心地よい空間となり、イギリスの古き良き時代を感じながら、ゆったりとした時間を過ごせました。全員で記念撮影の後、お腹が空いてきた頃に、浜名湖に接する港町「舞阪」へ移動し、大正元年より百年もの歴史を持つ「魚あら」にて昼食です。店内には車海老専用のいけすがあり、提供される名物「活天井」やお刺身は、新鮮そのもの。身はプリプリで、衣はサクツとして食感が良く、私の食べた天井の中では



うなぎパイ本舗工場見学

最高の味でした。

窓から浜名湖の港の光景を望みながら、ゆったりと会話を楽しみ、楽しい時間を過ごしました。

その後、うなぎパイファクトリーでの工場見学、お土産の買い物などを経て、時間通り御器所駅に到着・解散となりました。家でゴロゴロしている時間が多い中で、このバス旅行に参加させていただき、良い時間を過ごさせていただきました。本当に満足しています。

行事委員長の中山さんはじめ、皆様のご尽力に感謝いたします。



記念写真

行事レポート

日本銀行名古屋支店見学

38期 (園芸) 滝川 木下 ますみ

令和7年7月17日(木)、あいにくの雨模様。気温は30度を下回っていたが蒸し暑い中、地下鉄丸の内東改札口で集合し、6番出口すぐの日本銀行名古屋支店を訪問した。会員19名が参加し、職員の方から1時間半に亘って見学や説明をしていただいた。

発券課と業務課に案内された後、広報室で「そこが知りたい日本銀行」と題したビデオを視聴。日銀の重要な役割(①日本銀行券の発行②物価の安定③金融システムの安定)についてわかりやすく解説されていた。



日銀名古屋支店



お札の引換体験



ビデオ視聴



偽札の防止技術(紫外線による特殊発光)体験

興味深かったのはお札の引換体験で、汚れたり破損したりしたお札は、表裏があることと、面積○/○以上あれば全額引換できること。○/○以下は失効となる。その中間は半額。実際に鑑定板(見学者用)で測定して体験。災害時なども重要な役割を担っている。又去年7月に発行された新札は偽造防止技術がさらに進化している事を実体験した。触ったり、傾けたり、透かしたり、虫眼鏡で見たり、紫外線に当てたりして様々な高度な技術を再認識。昔は偽札事件もあったが、最近では耳にしない。このような技術の賜物であろう。

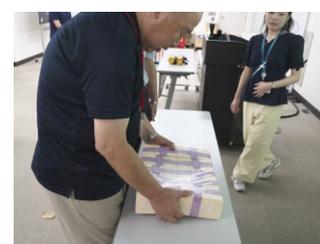
その後、旧金庫の分厚い扉を間近で見、窓越しに国庫金の経理業務の様子を見学した(撮影禁止)。億単位のお金の管理は、相当の重責で想像を絶する。広報室に戻り、金庫内の再現エリアで模

擬お札40億円や硬貨などの保管方法を見学。1億円の重さ体験をしたが結構重い。最後に8000万円のお札の裁断層で作られたシャチホコを囲んで記念撮影。

外から重厚な建物を見ることはあるが、中に入るのは初めて。お札、物価、金融と身近なものでありながら、どこか遠くに感じていた。今回の機会を得て、興味深く貴重な体験ができたことに感謝致します。



40億円の保管再現



1億円重さ体験

(○に入る数字と1億円の重さは解かりますか? 答えは参加した人に聞いてみて下さい)



記念写真

鯨城会活動

39期(2年生)の皆さんと地域ミーティングを実施

33期 (園芸) 御器所 河村 玲子

令和7年6月13日、昭和区社会福祉協議会(以下「昭和社協」)において、鯨城学園2年生39期との地域ミーティングが行われました。

参加者は、昭和区在住の39期生27名の内男性6名・女性6名の12名と鯨城会から7名。

昭和鯨城会の高島会長に続いて、鯨城学園原田地域活動指導員、昭和社協不破事務局長の挨拶があり、同じく昭和社協の五百田主事が、昭和区の地域福祉の現状について、自分が楽しんでできること・人(地域)とつながれること・地域(住民)のためになることをポイントに、卒業後も地域活動を続けてくださいと話をしてくださいました。



昭和鯨城会会長挨拶



五百田主事の説明



講師説明

その後は、39期生に鯨城会員3名を加えボッチャで交流しました。

昭和ボッチャひろめ隊の山影さんが(昭和鯨城会27期)が講師になって、競技の方法やルールの説明を受け、投球練習に引き続いてゲームを楽しみました。

39期生は全員未経験でしたが、練習のおかげか、初めてだとは思えぬゲーム展開でした。

ゲームに熱中し時間を少しオーバーして閉会となりました。

鯨城会に入会してお仲間になってくれるといいですね。



投球練習(ボトル倒し、的当て)



ボッチャ体験風景

会員の広場

「三度目の正直」で実現させた尾瀬旅行

31期 (美術) 松栄 杉江 恵理子

「夏が来れば思い出す はるかな尾瀬 遠い空」。

数年前、念願を果たそうと二泊三日の尾瀬旅行を計画しました。尾瀬はどのコースを選んでも、山小屋まで荷物を担いで最低1時間以上は歩かなければなりません。意気込んでみたものの、腰の腱が伸びてサポーターのお世話になり、山小屋も泣く泣くキャンセル。

翌年、二泊三日のツアーで、三回の催行予定日のうち参加できる回に申し込んだところ、その回だけ催行中止。「他の回ならお申込みいただけます。」の言葉が空しく響きました。

諦めかけていたこの春、バスハイキングのパンフレットに一泊二日の尾瀬ツアーを発見。二泊三日より荷物も少なく済むし、とにかく尾瀬をこの目で見たい、最後のチャンスだと、即、申し込みました。オペレーターに「体力に自信がなくて」と漏らすと「大丈夫、まだ二か月ありますから、トレーニング頑張ってください!」と元気よく(?)励まされ、3S(ストレッチ、スクワット、ステッパー)をメインに、体力作りに励みました。筋肉づくりによいと聞いて鶏ハムを作っては食べ、荷物も一品ずつスケールで量ってザックに入れたり出したり・・・軽量化に努めてようやく持ち物が決まり、荷物を背負ってステッパー。少しずつふくらはぎの筋肉も増え、ちょっぴり「やれそう」な気がしてきました。

いよいよ6月3日、小雨模様の中、不安と期待を胸に、早朝、名駅からバスで出発。尾瀬戸倉で小型バスに乗り換えて、午後3時過ぎに鳩待峠へ到着。上下別の登山用合羽にザックカバー、傘の完全武装で霧雨の中、約1時間半木道を歩き、山の鼻の山小屋に無事到着しました。山小屋は暖房完備でお風呂も泡石鹸が備え付けで使用でき快適でした。

翌朝は6時朝食。到着時は霧雨で見えなかったけど、正面には広大な水芭蕉の大群落。十年に一度の花数だそうで、しかも盛りのおきに出会え、感激もひとしお。



山小屋



水芭蕉の大群落

フリーハイキングなので、各自出発。私は木道をしばらく歩き、植物研究見本園やビジターセンターに寄ってから、一路、集合場所の鳩待峠を目指しました。早朝なので鳩待峠から降りてくる人は多いけれど、向かっていく人はほとんどおらず、マイペースで歩け、休憩も自由、誰にも遠慮することなく写真も撮れました。昨日に比べると楽で、思ったより早く鳩待峠に到着、休憩所でゆったりコーヒーを飲んだり土産物を物色したりしながら、仲間の皆

さんの到着を待ちました。予定より早く全員集合でき出発も30分早まって、名古屋には午後8時半に無事到着しました。

出発までは、何かと不安だったけれど、思い切って行ってよかった!大きな満足とささやかな達成感、それにちょっぴりの自信を得た尾瀬旅行でした。さあ、次はどこへ行こうかな?



続く木道

会員の広場

冥途のみやげ雲ノ平撮影

32期 (健康B) 吹上 伏屋 満

7月末、北アルプスの「雲ノ平」旅行に誘われた。もう自分には無理と思っ
てはいたが、冥途のみやげに景色を目(SDカード)に焼き付けるため高
齢者無謀山行に参加した。

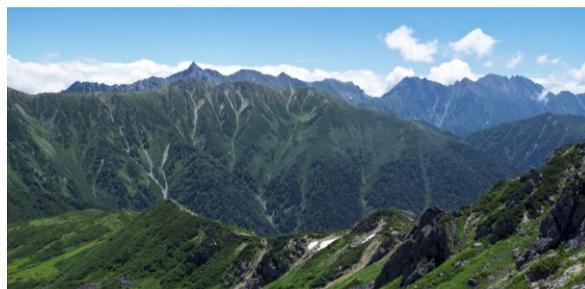
雲ノ平とは、北アルプスの槍・穂高連峰の北の方にある台地で、周
りを名の知れた山に囲まれた絶景が広がる。

折から酷暑を逃れて、出かけるのは申し訳なくもあったが、現
地はやはり T シャツ1枚で歩けるくらい快適であった。残雪が少なく、
高山植物の開花も早いような気がした。温暖化ヤバイ！

景色は天候も相まって素晴らしく、山小屋や登山道以外の人工物が
写らない素材を撮影できた。



雲の平位置図
(引用；Mapion)



槍・穂高連峰



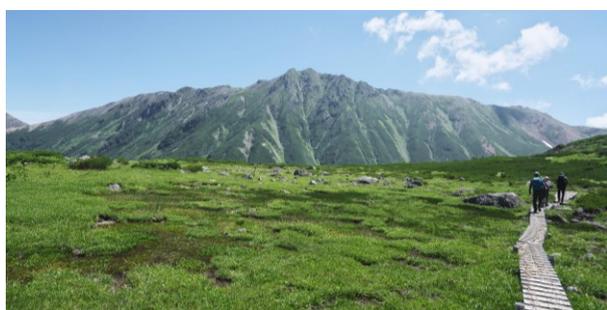
チングルマ



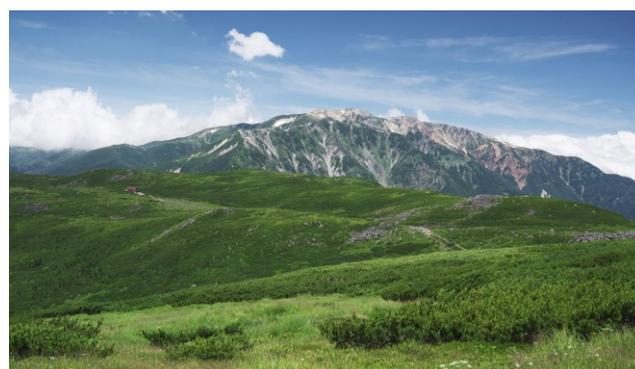
雷鳥



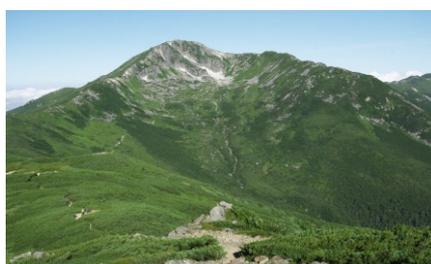
三俣蓮華岳



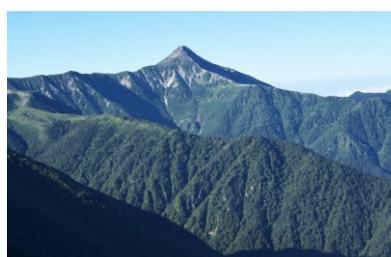
雲ノ平、水晶岳



雲ノ平、薬師岳



黒部五郎岳



笠ヶ岳



鷲羽岳

名古屋市高年大学 昭和鯨城会

第23回 趣味の作品展

今年も昭和鯨城会会員の皆様の力作が、下記要領にて展示されます。皆様お誘い合わせの上、是非御来場ください。

記

開催期間：令和7年10月28日(火)～30日(木)

時間：初日 10月28日(火) 11:00～16:00

2日目 10月29日(水) 10:00～16:00

最終日 10月30日(木) 10:00～15:00

会場：名古屋市市政資料館 3階 第3・4・5 一般展示室

(地下鉄名城線 名古屋城駅2番出口より東へ徒歩8分)

・作品搬入日：10月28日(火) 9:00～11:00

・作品搬出日：10月30日(木) 15:00～16:00

展示作品：絵画、書、短歌、写真、陶芸、工芸、他



展示室内には休憩処を設けています。ご鑑賞後、お茶などを飲みながらご感想をいただきましたらありがたく思います。

編集後記

119号は、新会員も加わり2024年前半の活発な活動の報告と、会員からいただいた投稿を掲載しました。今後も昭和鯨城会への積極的な参加とともに、様々な投稿もお願いします。

昭和鯨城会 「昭和こじょう会便り」 2025年9月119号

発行責任者 高島 善行

広報委員長 伏屋 満 副委員長 中村 誠司

広報委員 杉江 恵理子、桐山 宏之、岩井 芳隆、吉川 緑

表紙写真 「虹のランプ」 松永 文子 (27期 地域)

名古屋市高年大学昭和区鯨城会・名古屋市鯨城学園共同発行